

「両手いっぱいのお愛」新聖歌483番

1. ある日 イエスさまに聞いてみたんだ
どれくらいボクを愛してるの？
これくらいかな？ これくらいかな？
イエスさまは だまって ほほえんでる
2. もういちど イエスさまに聞いてみたんだ
どれくらいボクを愛してるの？
これくらいかな？ これくらいかな？
イエスさまは 優しく ほほえんでる

【次】

「両手いっぱいのお愛」新聖歌483番

3. ある日 イエスさまは こたえてくれた
静かに両手をひろげて
その手のひらに くぎを打たれて
十字架にかかってくださった
それは ボクの罪ため
ごめんね ありがとう イエスさま
それは ボクの罪ため
ごめんね ありがとう イエスさま
ごめんね ありがとう イエスさま

「主と」新聖歌431番

1. 今までの私の人生 一つの出会いで生まれかわり
黒く重いとびらは開かれ
一つの光が射し込んできた

* イエス・キリストの愛を今 おさえきれずに ウウウ
私は生きています とこしえまでも生きる 主と

2. 地平線のはるかかなたに 幸せは何かと
叫(さけ)んでみても
人々のいつわり 雲となり 昨日(きのう)まで真実
知らないままに 【*くりかえし】 (次)

「主と」新聖歌431番

3. 私は登ります カルバリ 祈る心に つきさす思い
血に染(そ)まった主イエスの十字架
私も背負って 地(ち)の果(は)てまでも

* イエス・キリストの愛を今 おさえきれずに ウウウ
私は生きています とこしえまでも生きる 主と

新聖歌123番 「救いの主(ぬし)は」

- 1 救いの主(ぬし)は ハレルヤ
よみがえりたもう ハレルヤ
勝ちどき上げてハレルヤ 御名をたたえよハレルヤ
- 2 十字架をしのび ハレルヤ
死にて死に勝ち ハレルヤ
生きていのちをハレルヤ 人にぞ賜(たま)うハレルヤ
- 3 主の死によりて ハレルヤ
救いはなりぬ ハレルヤ
天(あま)つ使いと ハレルヤ 共にぞ歌わん ハレルヤ

アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。
われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。
主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、
ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、
十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、
三日目に死人のうちよりよみがえり、
天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。
かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。
われは聖霊を信ず。
聖なる公同の教会、聖徒の交わり、
罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、
永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌126番 「地よ声高く」

- 1 地よ声高く 告げ知らせよ 今日 イエスキみは
よみがえれり いのちのきみは 天(あま)つそのに
われらを召(め)して 入れたまえり
- 2 永遠(とこよ)の光 てり輝く 御座(みくら)にいます
君(きみ)をあおがん 天(あめ)よりもるる 勝ち歌にぞ
地なるわれらも 声を合わせん
- 3 天(あめ)よ喜べ 地(つち)よ歌え ものみな共に
ほめたたえよ イエスキみ今日ぞ よみがえられる
ああ限りなき 栄えの日よ

アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあがめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらの日用(にちよう)の糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの
おお みかみに

ときわに たえせず
みさかえあれ
みさかえあれ
アーメン